

## キャビネットの役割

ライオンズクラブの組織は、単一クラブが主体となっています。それぞれのクラブは国際協会の一単位として、国際協会会則・付則及び規則のもと、地区が掲げるスローガンを目的としたクラブ運営に取り組み、魅力ある楽しい例会と積極的なクラブ活動を行うことが求められています。

地区キャビネットはそれら単一クラブと国際協会を結ぶパイプ役であり、地区運営方針を協議決定し、それを実行する地区行政執行機関として存在します。その代表者（行政執行責任者）が地区ガバナーです。

地区キャビネットは地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー、地区名誉顧問、地区幹事、地区会計、GMT、GLT、FWT各コーディネーター、ゾーン・チェアパーソン、地区委員長等によって構成されます。このうち、第一・第二副地区ガバナーと前地区ガバナーを除いたキャビネット構成員は地区ガバナーによって任命され、地区ガバナーの指揮のもとに与えられた職務を遂行します。

地区ガバナーの主宰によって、キャビネット会議を原則として年に4回開催し、会議出席者は地区ガバナーが決定します。

また、地区ガバナーは必要に応じてキャビネット構成員等以外からもキャビネット会議に招集し、諮問することができます。

キャビネット会議は、地区の英知を結集し、会則・諸規定に基づき、地区の運営について決定する機関です。キャビネット構成員は、自らが担うその職責について周知し、必要によっては徹底的に討議し、ガバナーの裁定のもと、決議します。

当地区では副委員長や副幹事、副会計には決議権はないが、会議出席者として会議の進行を手伝い、スムーズな運営に協力します。

決議は各クラブへ通知され、それに基づいてクラブ運営も調整される。ゾーン・チェアパーソンはその施行の進捗をみて、必要であれば指導する立場です。

キャビネット構成員はリジョンやゾーン内のクラブを代表する意味をもった役職ではなく、国際協会の指導的な立場にあり、地区ガバナーの方針を伝達する役職なのです。

**地区キャビネットは国際協会の一つの機構であり、協会の出先機関という括りで、単一クラブが集まって作ったものではありませんので、国際協会や単一クラブのように理事会は持っていません。**

地区キャビネットの目的は「地区は、地区内のライオンズクラブの融和協調を図ると共に、ライオニズムを高揚するために、ライオンズクラブ国際協会の基本的活動方針に従い、地区内の各クラブの運営を円滑ならしめることを目的とする」（ライオンズ必携：複合地区会則第2章地区第13条目的）となっています。

## ゾーン・チェアパーソンの役割

ゾーンは国際協会の最前組織であり、ゾーン・チェアパーソンは担当するゾーンの責任者となります。

地区ガバナーの指導監督のもと、各コーディネーター等役員と密接な連絡を取りながら、クラブの指導運営にあたる職責を持っています。地区ガバナーの指示やキャビネットで決定された事項を速やかにわかりやすく伝達し、各クラブにはそれに対応して、迅速に行動するよう指導してください。

- ゾーン・チェアパーソンは任期中に数回は担当クラブを訪問し、地区の状況やニュースを細かく伝え、会員との意見交換を行ってください。
- 各クラブから会員増強、退会者、出席者、アクティビティ計画、クラブの運営、活動状況等について、詳しく報告を受け、適切な指導を行ってください。
- クラブ相互の親睦と、交流に配慮してください。
- ゾーン・チェアパーソンは地区ガバナー諮問委員会を年 3 回以上開催することになっています。

\* 諮問委員会開催案内及び開催後の諮問書及び報告書提出が義務付けられています。

ゾーン・チェアパーソンのかたは、キャビネット事務局宛にお送りください。

### \* 地区ガバナー諮問委員会

ゾーン・チェアパーソンを議長として、年 3 回以上開催するガバナー諮問委員会の目的は「ゾーン内のクラブが協調を保ちつつ、ライオンズムを高揚するための方法を協議する」とあります。この地区ガバナー諮問委員会は楽しい雰囲気の中で、地区ガバナーが目標とする内容についての方策や、新しい知識と情報が提供されたり、クラブ運営についての意見や情報の交換を行う場としてください。

ゾーン・チェアパーソンから、キャビネットの方針や活動状況などもクラブに伝達されることが第一の目的で、それによってクラブがどのような活動をしていったらよいかを考える会議なのです。

また、クラブ間の親善交流も目的としておりますので、一方的な意見に片寄せぬよう留意して意義ある諮問委員会としてください。

地区ガバナー諮問委員会は、ゾーン・チェアパーソンが議長としてゾーン内のクラブ三役を招請し、地区ガバナーの諮問事項を諮問します。本来の構成メンバーはクラブ会長・幹事だけですが、日本ではクラブ三役のくくりが大切にされ、常に三役を出席要請しているところがほとんどです。そのほかゾーン内の Y C E 委員をはじめ、キャビネット構成員が在籍していれば出席を求め、いろいろな情報や知識が得られるよう、有益な会としてください。

開催にあたっては、例年どのゾーンでもゾーン・チェアパーソンを中心に開催準備を怠りなくなさっていることと思いますが、クラブ間の情報交換、親睦、交流、研修会、共同行事の開催などを議題とし、各クラブに資料を整え、クラブの意見を持って出席するよう指導伝達してください。

特に下記の議題は必ず審議に含めるようにして下さるよう、お願いいたします。

- 月例報告書の重要性とその内容
- クラブ会費・納入金について
- アクティビティの事例や予定
- 情報交換、大会参加への指導
- その他出席率の向上や、会員増強、退会防止、エクステンション

なお、**諮問委員会**は「決議」の行える場所ではありませんので、その旨、お間違いの無きよう、クラブにご指導ください。

## 地区委員長・副委員長・委員

ガバナーの方針のもと、それぞれの担当する所轄事項について、テーマ、目的を掲げて各クラブに対し、推進あるいは指導伝達する役割を持ちます。

委員会の重要とするところをよく理解し、ガバナーをはじめとするキャビネット三役に相談し、GMT・GLT・FWTコーディネーター並びにゾーン・チェアパーソンにも協力を求め、活動を推進していただくようお願いします。

## キャビネット副幹事・副会計

キャビネット幹事並びにキャビネット会計の補佐を担当し、各委員会もメンバーとして担当箇所を持ち、その一端を担う。会則上、副委員長や委員と同様、正式なキャビネット構成員ではないが、地区ガバナーが認める構成員として、各種会議に出席し、運営を補佐します。

2015-2016年度より、リジョンの枠組みはなくなりませんが、リジョン・チェアパーソンの委嘱がなくなり、ゾーン・チェアパーソンによるゾーン毎の運営が始まりました。各規則等からもリジョン・チェアパーソンの表記については、文言が整理され、「元リジョン・チェアパーソン」の表記を残すのみになります。

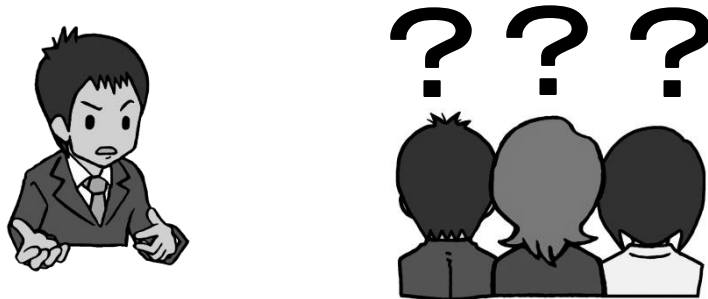
これまでリジョン会などの会合をもっていたところは、今後どうするかはそれぞれの地域でより良い方法を決めてください。

## ☆ライオンズ用語を正しく使う、ライオンズの会則を正しく解釈する。

近年、ゾーン単位、リジョン単位で長年、慣れ親しんでいる仲間と会議や親睦を重ね、申し送りなどもしているうちに「ローカルルール」と「ローカルルールに基づいた表現・判断」ができてしまうことがあり、訪問した役員が驚いてしまうこともあったりします。ライオンズクラブは国際会則をはじめとして、会則に基づいて運営されていることは皆知っているところですが、実際にゾーンで、またはリジョンで真剣に討議したり、こういう風にできたらという希望的な気持ちもあり、そうしたことになってしまうのかも・・・

ライオンズクラブは世界に4万6千というクラブと135万人のメンバーがあり、国・文化・言葉は違えど、それぞれがライオンズの「会則」を守って運営する約束をして国際協会から認証（チャーター）を受けている団体のはずです。

「ローカルルール」を普通のこととっていて、その土壌の中に育ったライオンが「県外のセミナーに参加していたら話がよその地区の人に通じなかった」、または「あなたの地区ってそうなの？」と質問を逆に受けた・・・といった具体例も聞くことがあります。



日本国内だけでも、8複合、35準地区、三千二百のクラブと十万人のメンバーが、同じ規則のもと、同じ言葉を使って「ライオンズクラブ」を語っています。

同じ立場で語りあうには、ライオンズ用語を正しく理解して使う、ライオンズのさまざまな会則を周知する機会を作り、これはこういう解釈だからこういう理解で、こういう内規も設けられるというところをしらなければなりません。

よその地区のライオンとも同じ高さで渡り合えることで、初めていろいろなものが見えてきます。「若手の育成」の段階でもここが一番大切なところです。

変革・革新は正しい基盤があってこそ、未来への指標が生まれるのです。

この対策としては、本日一緒にお配りした「役員必携」に掲載されている単語は特にそのまま正しく使う、書いてある規則も正しく解釈することを地区役員そしてクラブ三役がいつも気に留めて会員をご指導ください。